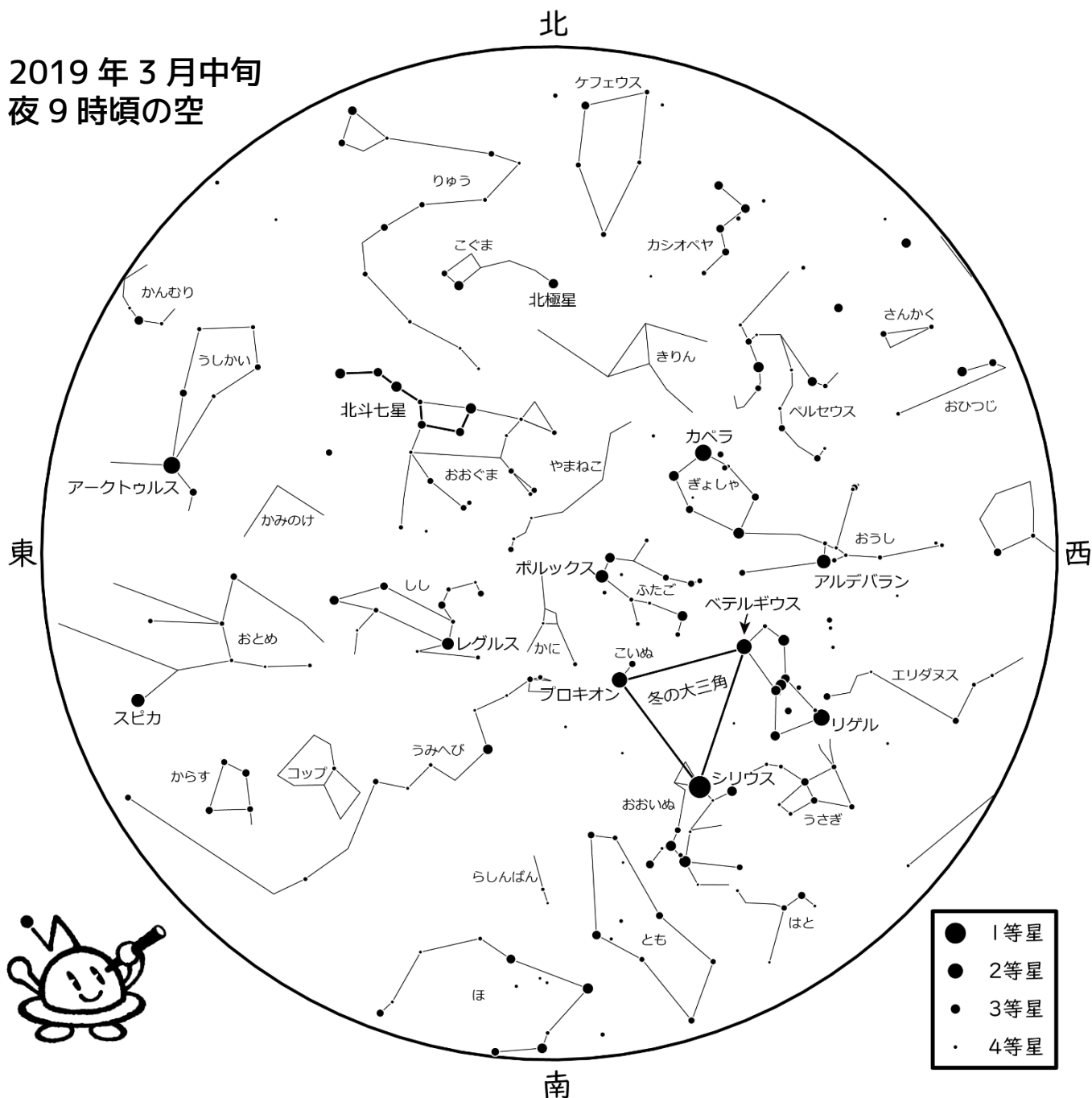


# 阿南市科学センター 3月の星空案内

2019年3月中旬  
夜9時頃の空

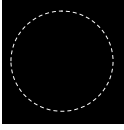





桜の開花が待ち遠しい3月になりました。星空の様子も季節はうつろい、**おおぐま座**や**しし座**といった春の代表的な星座たちが昇っています。おおぐま座の背中から尻尾にかけての7つの星は**北斗七星**と呼ばれ、日本ではその形を柄杓(ひしゃく)に見たててヒシヤクボシ、あるいは船の舵に見たててカジボシと呼ぶこともあったようです。北斗七星を見つけたことができれば、目線を少し南に移してしし座を探してみましょう。しし座には1等星**レグルス**が輝き、この星から「？」を裏返しにしたような星の並びを見つけることができます。これは作物を刈り取る西洋の鎌に似ていることから、**獅子の大鎌**(ししのおおがま)とも呼ばれています。

天体観望会の予約・お問い合わせ先

阿南市科学センター 徳島県阿南市那賀川町上福井南川淵8-1 電話 0884-42-1600

## ◇ 月の満ち欠け

名 称	新月	上弦の月	満月	下弦の月
形 状				
見える日	3月7日	3月14日	3月21日	3月28日

## ◇ 惑星について

名 称	水 星	金 星	火 星	木 星	土 星
見どころ	初旬頃、西のごく低空で見える。	夜明け前に東よりの低空で見える(明けの明星)。	日没後に西の空で見える。	深夜に南東の空(へびつかい座)で見える。	夜明け前に南東の空(いて座)で見える。
明るさ	約0等	約-4等	約1等	約-2等	約0.5等

## ◇ おすすめ天体 【M97 ふくろう星雲】

メシエ天体の一つである M97 ことふくろう星雲はおおぐま座に位置する天体です。望遠鏡で観察すると白くて丸いぼんやりとした塊ですが、写真に撮ると星雲の濃淡がまるでフクロウの顔のように見えます(図1)。この天体は**惑星状星雲**の一種で、太陽のような質量の星が最期を迎え、星を構成していたガスがゆっくりと宇宙に放出されている状態になっています。最終的に星のサイズは地球程度まで小さくなり、**白色矮星**と呼ばれる星の燃えカスのようなものが残ります。

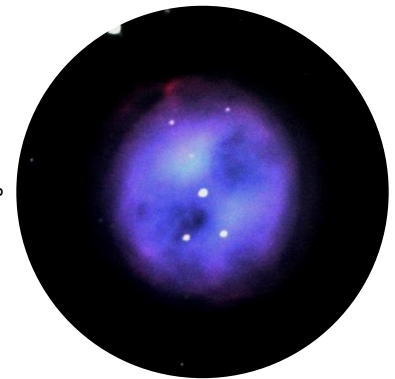


図1: M97 ふくろう星雲。

## ◇ おもしろ天文学【ひしめきあう銀河たち】

春の代表的な星座おとめ座のあたりには、銀河が大名行列のように(鎖状に)ならぶ領域があります(図2)。これは**マルカリアの鎖**と呼ばれ、天体写真愛好家の間でも人気の撮影対象です。名前の由来は、1961年にこれらの銀河の運動を研究したアルメニア(旧ソ連)・ビュラカン天文台の天文学者ベンジャミン・マルカリアンからきています。マルカリアンの鎖周辺には、その他にも数多くの銀河がひしめきあっており、これらの集まりを**おとめ座銀河団**と呼んでいます。一般に銀河団はおよそ1500万光年の範囲内に数百個の銀河が群がっており、現在1万個以上の銀河団が発見されています。さらにこの宇宙において銀河団は、互いに結びついてフィラメント状に分布し、より大きなスケールの**超銀河団**を形成しています。我々の住む天の川銀河やお隣のアンドロメダ銀河は、おとめ座銀河団も含めて**おとめ座超銀河団**に属すると考えられています。

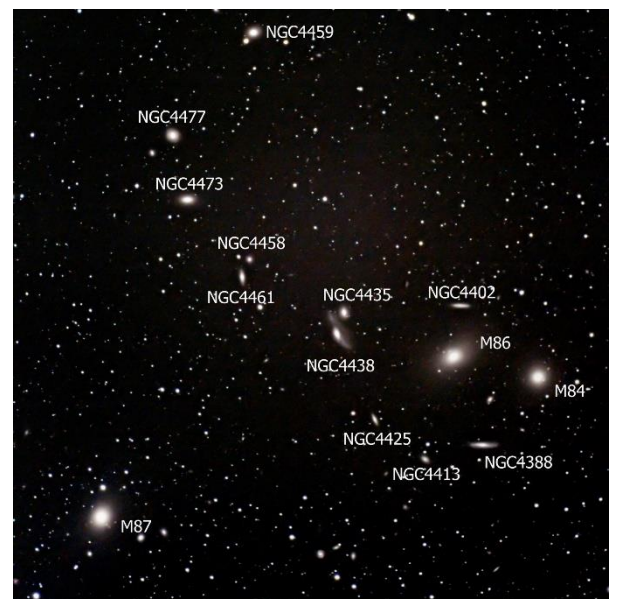


図2: マルカリアの鎖 (2018年5月11日撮影)。